

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。6月は天候のすぐれない日が多く、遠足のキャンセルも相次いで寂しい思いをしてきましたが、この週末は久々の晴天、大いににぎわいました。伏見中からも特派員が駆けつけてくれましたので、ますます情報があふれることでしょう。さて今日は、アジアゾウの「花子」ちゃん、「爪のお手入れ」です。



真剣に爪を削るのは、アジアゾウ担当の「佐藤」さんです。技術の時間に使うやすりなどの工具を使って、いねいに花子の爪を整えます。

ゾウの足は、ひづめのように思いますが、実は、全く違います。

歩くときも足の裏全体ドスンと歩くのではなく、つま先とやわらかい足の裏で歩くので、重い体重が脂肪と繊維質



とのクッションでやわらげられ、足音なく歩きます。賢くて用心深いので、いねいにケアをしています。でも、結構大変です。キーパー「佐藤」さんの横には、花子のご機嫌取りに獣医「伊藤」さんが、つきっきりです。(長鼻目 ゾウ科)



「花子還暦祝」 わかったことは、レポートしよう。

花子ちゃんは、もうすぐ還暦です。日本に住むアジアゾウ66頭のうちナンバー2の長寿ゾウです。以前にもお知らせしましたが、1年5組の5班の皆さんが、お祝いの行事(7/15午後2時)の実行委員として活躍しています。

そして、1学年全体でその手伝いをしてくれています。動物園にとって伏見中の生徒は、それだけ「特別の生徒」なのです。皆さんの学習のリクエストは、学校を通して連絡してくださいね。スタッフ一同、お待ちしております。



生徒の皆さん・保護者の皆様、動物園を活用していますか。このお便りは、動物園の飼育係の目で動物を見てほしいことと、理科学習として実際の動物を見てほしいこと、両面から情報を発信してきました。

動物園では「学習の場」としての位置づけを探しています。みなさんの学びたい・知りたいという欲求が、円山動物園を世界一の動物園へ育てるのです。もちろん保護者の皆様も大歓迎です。どんどん利用してください。お待ちしております。では、また。